

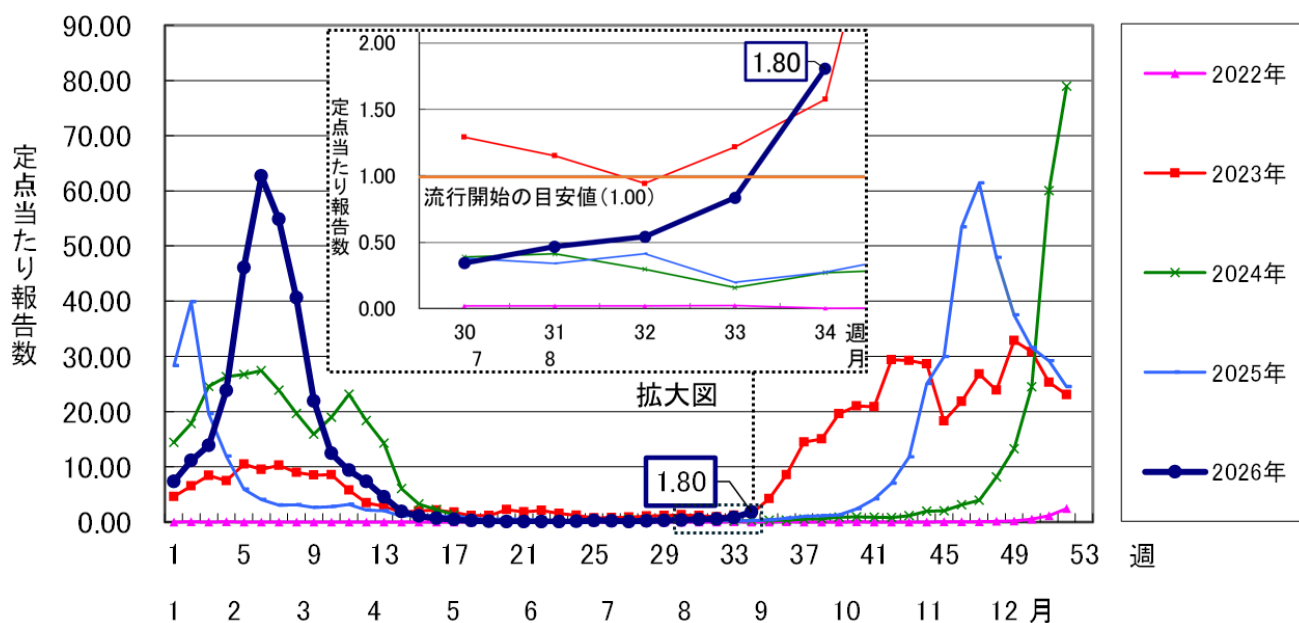
令和 8 年 8 月 2 6 日
健康福祉部健康福祉政策課
043-223-2672

インフルエンザの流行について

2026 年第 34 週（8 月 17 日～8 月 23 日）における本県のインフルエンザの定点当たり患者報告数が 1.80 となり、国がインフルエンザの流行開始の目安とする 1.00 を上回りました。

今後、更なるインフルエンザ患者報告数の増加が見込まれるため、手洗いや咳エチケットに努め、家庭、保育所、幼稚園、学校、社会福祉施設等において、感染予防策の徹底をお願いします。

◎インフルエンザ定点当たり患者報告数(千葉県)



※ 定点当たり患者報告数とは、各定点において1週間に診断した患者報告数を、報告定点医療機関数で除した数

※ 県が指定した小児科・内科を標榜する診療所等(急性呼吸器感染症定点、小児科/急性呼吸器感染症定点)を定点とし、その定点の医師が、インフルエンザ患者と診断した場合に保健所へ報告する。

◎ 県民の皆様へ

インフルエンザは、突然の高熱、頭痛、関節痛など、普通の風邪に比べて全身症状が強く、気管支炎や肺炎などを合併し重症化することが多いので、体力のない高齢者や乳幼児などは特に注意が必要です。手洗い等で予防を心がけるとともに、体調管理を徹底し、早めに予防接種を受けましょう。

・インフルエンザとは

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が突然現れ、併せて一般的な風邪と同様にのどの痛み、鼻汁、咳などの症状も見られます。小児ではまれに急性脳症を発症し、ご高齢の方や免疫力の低下している方では肺炎を伴うなど重症になることがあります。インフルエンザの流行には季節性があり、日本では例年12月～3月に流行シーズンを迎えることが多いです。

インフルエンザを予防する有効な方法としては、以下が挙げられます。

- 1) こまめな手洗い
- 2) 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- 3) 室内ではこまめに換気をする
- 4) 人混みや繁華街への外出を控える
- 5) 適度な湿度の保持
- 6) ワクチン接種※

※ワクチンは例年10月頃から接種可能となります。

・咳エチケットについて

県では、「咳エチケット」を推奨しています。

- ①咳・くしゃみの症状があるときは、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。
- ②マスクを持っていない場合は、ティッシュや腕などで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1メートル以上離れましょう。
- ③鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めたときはすぐに手を洗いましょう。
- ④咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう。

・全国のインフルエンザの発生状況

感染症発生動向調査(2026年第33週※ 8月10日～8月16日(速報値))によると、沖縄県(127例、定点当たり報告数は2.89)、青森県(87例、定点当たり報告数は1.71)、埼玉県(238例、定点当たり報告数は1.70)、神奈川県(269例、定点当たり報告数は1.37)で多くなっています。

近隣都県では、東京都(299例、定点当たり報告数は0.91)、埼玉県(238例、定点当たり報告数は1.70)、神奈川県(269例、定点当たり報告数は1.37)、茨城県(56例、定点当たり報告数は0.85)となっています。

※直近週(2026年第34週)の前週時点 (全国では2,417例、定点当たり報告数0.69)

詳しくは以下のホームページを御覧ください

・千葉県の情報(千葉県感染症情報センター)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/>

・インフルエンザ(総合ページ)厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuenza/index.html